カトリック鈴蘭台教会　**週報**　2023(令和5)年7月23日

今日(7月23日) の聖歌

入祭：47/③④ 奉納：100/①②　拝領中：156/①② 拝領：オルガン　閉祭：399

各委員会・係からのお知らせ

1. **教会評議会より・**

①安神父様が鈴蘭台の司祭館に戻られましたので、今後、二か所の門扉は常時開いています。また、聖堂平日入口も昼間は毎日開いています。

②先週16日（日）に来会されたNPO法人せいぼの方からお礼のメールが届いています。当日、皆さんからの寄付76,057円が集まったそうで、これはマラウイの給食分約5,100食分にあたるそうです。せいぼの方も感謝され、信徒の皆さんによろしくとのことでした。なお、今後、コーヒーを注文するための注文用紙を聖堂後方机上に置いていますのでご利用ください。

2. **社会活動委員会より・**

13日（木）の炊き出しは配給数101名に対して15名の皆様にご協力を頂きました。また募金、お米の寄贈にも感謝いたします。これからも祈りとともにご協力お願いします。

3. **ヨセフ会より・**

8月6日(日)ミサ後、ヨセフ会を開催しますのでお集まり下さい。

4. **バザー委員会より・**

10月22日の日曜日にバザーを予定しております。バザーに出品する寄贈品(・新品もしくは未使用品に近いもの・食品に関しては賞味期限に余裕のあるもの・衣類は不可)をお願いします。またすべて出品カードに記載して信徒館入口横のボックスにお持ちください。なお寄贈品を確認するため必ず持参時にバザー委員にお声がけのご協力よろしくお願いいたします。なお、不明な点はバザー委員までお問い合わせください。

5. **その他・**

①ミサ参加にあたってのお願い

(a) 自宅で検温を行い、熱があるなど体調不良の場合は、ミサへの参加を自粛してください。
(b) ミサ参加時は、マスクを着用してください。
(c) 入館は信徒館入口から行ってください。その際アルコールでの手指消毒をお願いします。
(d) 今後もミサ中上部窓開放、下部窓より排気など換気を十分に行います。各自自主的に対策をし、体調管理に十分ご留意ください。

②7月主日ミサ司式司祭

主　日	司　式　司　祭
7月30日(日)	安　旻祐神父

第３回「祖父母と高齢者のための世界祈願日」の祈り
（2023 年 7 月 23 日）

おとめマリア、
信仰と希望の母よ、
あなたは無関心に屈した人類に模範を示してくださいました。
あなたにならって神のみ心を受け入れ、
いつくしみ深い神をあがめ、たたえることができますように。
勇気の母マリアよ、
あなたはわたしの心を知っておられます。
わたしが希望を失うとき力づけてください。
信頼をこめて、わたしの人生をあなたのみ手にゆだねます。
わたしの傷を癒してください。
愛に満ちたあなたがともに歩んでくださいますように。
愛の母マリアよ、
あなたはわたしたちとともにおられ、
家族が一つになる喜びをもたらしてくださいます。
神の愛と優しさを孫や若者たちに伝えることができるよう助けてください。
孫や若者たちのために祈るだけでなく、
ともに祈ることができますように。
マリアよ、
わたしのために聖霊のたまものを執り成してください。
わたしの弱さを支え、
わたしの心に慰めを注ぎ込んでください。
わたしたちが、いのちの美しさをあかしし、
人生には限りがあり、
その先には御父の抱擁が待っていることを心にとめ、
若者たちの間に信仰の足跡（そくせき）を残すことができますように。
アーメン。

祖父母と高齢者のための世界祈願日とは

この祈願日は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの最中に制定されました。感染拡大防止のため、多くの高齢者が孤独のうちに置かれ、だれにも看取られることなく亡くなりました。その悲劇は、苦しむ人に寄り添うというキリスト者の召命について、あらためて考えるよう促します。

この祈願日の教皇メッセージは、とりわけ高齢者自身へと向けられます。教皇は、記憶を保ち信仰を伝えるという高齢者の使命を繰り返し説いています。高齢者には、社会において担うべき役割があるのです。

ですから、高齢者にとってはその使命の自覚が、後の世代にとっては高齢者の果たす役割への理解が、それぞれ求められます。家庭にも教会にも、高齢者が活躍する場、あらゆる世代がつながって協働する場が必要なのです。

（教皇メッセージは聖堂後方机上にあります。お取りください。）